

賢治の童話の世界で楽しく学ぶ「楽習」施設。そのメインとなる「賢治の学校」は、「宇宙」や「天空」「大地」など5つのゾーンに分かれ、それぞれに映像や音を使った楽しい仕掛けが。子どもはもちろん、大人も童心に返って童話の世界を楽しめます。

9:00～16:30 12月28日～1月3日、月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日以降の休日とならない日) ☎0198-31-2211

JR新花巻駅よりバスで4分、「賢治記念館」バス停下車後徒歩3分

入村料無料 賢治の学校入館料 一般 350円 高校生・学生 250円 小中学生 150円

宮沢賢治に関する様々なジャンルの芸術作品、研究論文を数多く収集し、整理・公開しており、誰でも自由に賢治の世界に触れることができます。また、賢治の人と作品の愛好者、研究者が交流・利用できる広場である「宮沢賢治学会イーハトーブセンター」の本部が置かれています。

9:00～16:30 12月28日～1月3日、火曜日(火曜日が祝日の場合はその翌日以降の休日とならない日) ☎0198-31-2116

JR新花巻駅よりバスで4分、「賢治記念館」バス停下車後徒歩5分

無料

大正15年(1926)、農学校を退職した賢治が、農民たちを集めて農業技術や農業芸術論などを講義するために設立。昭和3年(1928)に病気になるまで、賢治はこの建物で自炊生活をしていました。昭和44年(1969)、現在地(県立花巻農業高等学校校内)に移築復元されました。

要問い合わせ 県立花巻農業高等学校のホームページをご覧ください。 JR新花巻駅より車で10分

「イーハトーブ童話の森」「軽便鉄道から銀河鉄道」「賢治サイエンス」「花巻大正モダンズム」といった展示を通して、賢治の作品世界や賢治がいた時代の花巻を感じることができます。

9:30～17:30 臨時開館日：GW期間中と7月第4週～9月第2週の水曜日 毎週水曜日 12月29日～翌年1月3日 ☎0198-24-0818 JR花巻駅より徒歩15分

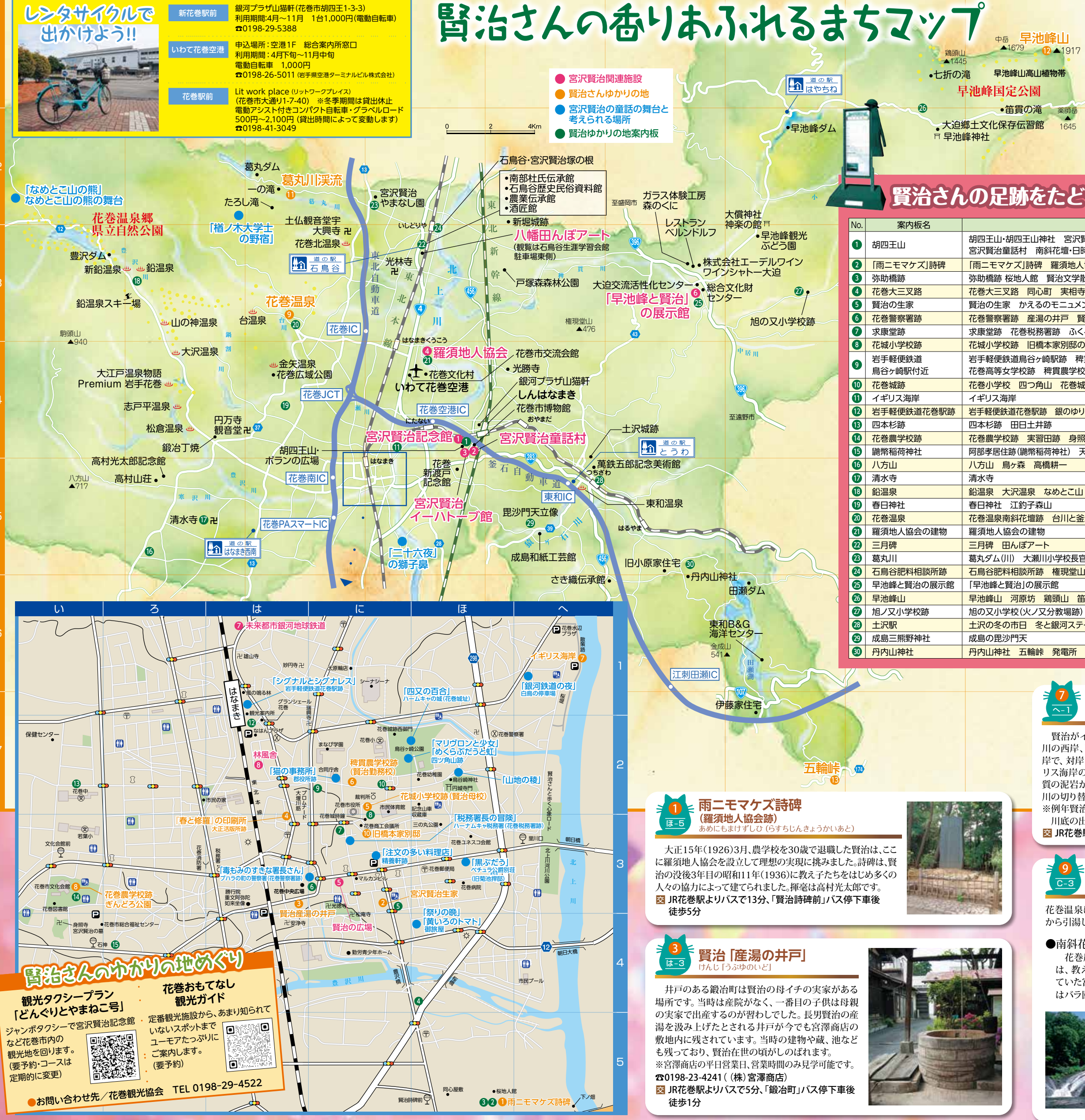
童話「猫の事務所」のモデルともいわれる旧樺貫郡役所を復元した展示館。早池峰と賢治にかかわる作品紹介、賢治が常宿としていた旧石川旅館の部屋再現、風の又三郎の舞台ともいわれる猫山のモリブデン鉱石などを展示しています。

9:00～16:30 12月29日～1月3日 ☎0198-48-2070 JR新花巻駅より車で20分

高さ10m、長さ80mの構壁に「銀河鉄道の夜」をイメージさせる幻想的な絵が浮かび上がる、ロマンチックな人気スポットです。特殊塗料で描かれているため、日中は白い輪郭しか見ることができません。見に行くなら絶対、夜がおススメ! JR花巻駅より徒歩4分 ライトアップ 日の入り後～22:00

小物、アクセサリーをはじめ、賢治の作品をモチーフにしたオリジナルグッズを販売。2階は喫茶室になっていて、毎週日曜日の15時頃から、ピアノの生演奏が行われています。 10:00～17:00 毎週水曜日ほか ☎0198-22-7010 JR花巻駅より徒歩3分

賢治さんの香りあふれるまちマップ



賢治さんの足跡をたどってみませんか

No.	案内板名	紹介内容	設置場所
1	胡四王山	胡四王山・胡四王山神社 宮沢賢治記念館 宮沢賢治イーハトーブ館	宮沢賢治記念館階段上り口
2	「雨ニモマケズ」詩碑	「雨ニモマケズ」詩碑 羅須地人協会 下ノ畑 獅子ヶ鼻	「雨ニモマケズ」詩碑入口
3	弥助橋跡	弥助橋跡 桜地人館 賢治文学散歩道	桜地人館付近
4	花巻大三叉路	花巻大三叉路 同心町 実相寺の林	豊沢橋付近(南側)
5	賢治の生家	賢治の生家 かねるのモニュメント 御旅屋	豊沢町ポットパーク付近
6	花巻警察署跡	花巻警察署跡 産湯の井戸 賢治の広場	花巻中央広場
7	求康堂跡	求康堂跡 花巻税務署跡 ふくろうのモニュメント	プリミエール花城付近飯坂
8	花城小学校跡	花城小学校跡 旧橋本家別邸の花壇 旧精養軒跡	花巻市役所新館前
9	岩手軽便鉄道	岩手軽便鉄道鳥谷ヶ崎駅 樺貫郡役所跡	花巻地区合同庁舎付近(旧中央公民館跡地)
10	花巻城跡	花巻小学校 四つ角山 花巻城跡 岩手軽便鉄道潮川の鉄橋跡	花巻小学校
11	イギリス海岸	イギリス海岸	イギリス海岸詩の森公園
12	岩手軽便鉄道花巻駅跡	岩手軽便鉄道花巻駅跡 銀のゆり 記念モニュメント 銀河ポット 風の鳴る林	グランシェール花巻付近
13	四本杉跡	四本杉跡 田日土井跡	花巻中学校北側
14	花巻農学校跡	花巻農学校跡 実習田跡 身原寺	花巻市文化会館入口(南)
15	鹿野神社	阿部孝居住跡(鹿野神社跡) 天神さん さいかち淵 地蔵堂の五本の巨杉	鹿野神社
16	八方山	八方山 鳥ヶ森 高橋一	横志田公民館
17	清水寺	清水寺	清水寺
18	鉛温泉	鉛温泉 大沢温泉 なめとこ山 大空滝	鉛温泉駐車場
19	春日神社	春日神社 江釣子森山	春日神社
20	花巻温泉	花巻温泉南斜面花壇跡 台川と釜淵の滝 温泉電車の線路跡	花巻温泉
21	羅須地人協会の建物	羅須地人協会の建物	花巻農業高等学校
22	三月碑	三月碑 田日土井跡	道の駅 石鳥谷
23	葛丸川	葛丸川(川) 大瀬川小学校校長官舎 黒森山 青ノ木森 松林寺の寺安地蔵	大瀬川振興センター
24	石鳥谷肥料相談所跡	石鳥谷肥料相談所跡 権現堂山	花巻商工会議所石鳥谷支所付近
25	早池峰と賢治の展示館	「早池峰と賢治」の展示館	「早池峰と賢治」の展示館
26	早池峰山	早池峰山 河原原 鶏頭山 笛貫の滝 七折の滝 薬師岳	岳地区山村公園
27	旭ノ又小学校跡	旭ノ又小学校(火ノ又分校跡) 猫山 モリブデン鉱山跡	旭の又地区集会所
28	土沢駅	土沢の冬の市 冬と銀河ステーション碑	土沢駅前
29	成島三熊神社	成島の豊沙門天	成島三熊神社
30	丹内山神社	丹内山神社 五輪峠 発電所	旧谷内村農会館

賢治がイギリス海岸と名付けたのは、北上川の西岸、下小舟渡から下似内にかけての河岸で、対岸には猿ヶ石川が注いでいます。イギリス海岸の名は、当時夏になると青白い凝灰質の泥が露出し、イギリスのドーバー海峡を思わせたことによります。現在は川の切り替えにより川底は見られず、往時を偲ぶ場所となっています。 ※例年賢治の命日である9月21日には、発電事業者等の全面的な協力のもとで川底の出現を試みています。 JR花巻駅よりバスで6分、「イギリス海岸」バス停下車後徒歩4分

花巻温泉は大正12年(1923)、台温泉から湧いて開業した新温泉でした。

花巻農学校の教師をしていた賢治は、教えずに遊園地の造園主任をしていた富手の依頼で、花壇の設計や庭造りを指導しました。今、南斜面花壇はバラ園に変わり、紅葉館前の日時計花壇は園内に移されました。

釜淵の滝付近は「台川」の作品舞台です。賢治は農学校の生徒を連れて釜淵の滝あたりまで地形や岩石などを調べに行きました。そのときの生徒たちの心の動きや、自然との交感が生き生きと描かれています。 JR花巻駅よりバスで19分、「花巻温泉」バス停下車後徒歩5分～10分

旧橋本家別邸は、賢治の親戚である喜助が病弱な夫人の為に建てたもので、賢治は夫人へのお見舞いに花壇を設計しました。当時の素材のままだる唯一の花壇といわれています。 ※「茶寮だん」敷地内にあります。適切なマナーでご覧ください。 JR花巻駅よりバスで5分、「花巻市役所」バス停下車後徒歩3分

略年譜 宮沢 賢治

明治十九年(一九〇六)	8月27日「戸籍簿」では8月1日現在花巻市京町の長男と記されているが、父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治二十年(一九〇七)	10歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治二十一年(一九〇八)	11歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治二十二年(一九〇九)	12歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治二十三年(一九一〇)	13歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治二十四年(一九一一)	14歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治二十五年(一九一二)	15歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治二十六年(一九一三)	16歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治二十七年(一九一四)	17歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治二十八年(一九一五)	18歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治二十九年(一九一六)	19歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治三十年(一九一七)	20歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治三十一年(一九一八)	21歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治三十二年(一九一九)	22歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治三十三年(一九二〇)	23歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治三十四年(一九二一)	24歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治三十五年(一九二二)	25歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治三十六年(一九二三)	26歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治三十七年(一九二四)	27歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治三十八年(一九二五)	28歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治三十九年(一九二六)	29歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治四十年(一九二七)	30歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治四十一年(一九二八)	31歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治四十二年(一九二九)	32歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治四十三年(一九三〇)	33歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治四十四年(一九三一)	34歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治四十五年(一九三二)	35歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治四十六年(一九三三)	36歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治四十七年(一九三四)	37歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治四十八年(一九三五)	38歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治四十九年(一九三六)	39歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治五十年(一九三七)	40歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治五十一年(一九三八)	41歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治五十二年(一九三九)	42歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治五十三年(一九四〇)	43歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治五十四年(一九四一)	44歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治五十五年(一九四二)	45歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治五十六年(一九四三)	46歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治五十七年(一九四四)	47歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治五十八年(一九四五)	48歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治五十九年(一九四六)	49歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治六十年(一九四七)	50歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。
明治六十年(一九四七)	50歳。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。父次郎(分館)の長男と記されている。

賢治さんの香りの地めぐり

観光タクシープラン「どんぐりとやまねこ号」

花巻おもてなし観光ガイド

定番観光施設から、あまり知られていないスポットまで、ユニータつづりにご案内します。(要予約)

お問い合わせ先 花巻観光協会 TEL 0198-29-4522

花巻

宮沢賢治
イベントカレンダー
2026 春夏号

特別展「村童スケッチ」

●開催日／開催中～5月31日(日) ●会 場／宮沢賢治記念館
宮沢賢治の童話には、作品の形態によって自らで分類を試みたと考えられる作品がいくつかあります。その中の分類の一つに「村童スケッチ」とされる作品群があり、字のとおり、対象を村の児童とし描かれたもので、後に「風の又三郎」に転用される「種山ヶ原」、「さいかち淵」もその一部といえます。これらの作品に焦点をあて、賢治が実際に見て描いた「村童」の姿を紹介していきます。
●お問合せ先／宮沢賢治記念館 TEL 0198-31-2319



イーハトーブの光

～鈴木摩耶子・ステンドグラス作品展～

●開催日／4月15日(水)～6月15日(月)
●会 場／宮沢賢治イーハトーブ館
花巻市在住の鈴木摩耶子さんによる作品展を開催します。「連作 銀河鉄道の夜」をはじめ、宮沢賢治童話をテーマとしたステンドグラス作品を中心に、照明作品や立体小物等を展示いたします。
●お問合せ先／宮沢賢治イーハトーブ館 TEL 0198-31-2116

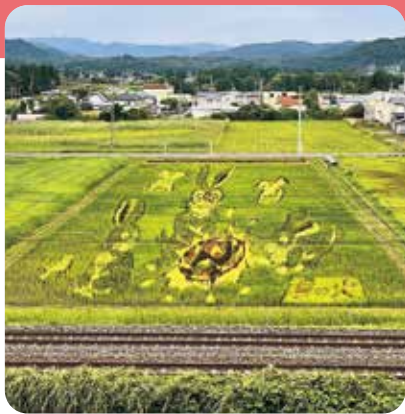
特別展「猫とねずみのはなし」

●開催日／6月6日(土)～9月27日(日) ●会 場／宮沢賢治記念館
宮沢賢治の童話には、人を動物に置き換えたお話がたくさんあります。その中でも猫やねずみは「ツェねずみ」、「クンねずみ」、「鳥箱先生とフゥねずみ」といったねずみ三部作や、「猫の事務所」、「セロ弾きのゴーシュ」といったように、様々な作品を楽しく展開させる重要な役割として登場します。生活に身近な動物である猫やねずみをどのようにみていたのか、賢治の視点にも着目しながら作品を紹介していきます。
●お問合せ先／宮沢賢治記念館 TEL 0198-31-2319



八幡田んぼアート

●開催日／6月上旬に田植え、9月頃まで ※10月上旬に稲刈り予定
●会 場／石鳥谷生涯学習会館駐車場
東側から眺めることができます
石鳥谷町八幡地域で宮沢賢治の童話を題材に制作する巨大な田んぼアートです。
●お問合せ先／八幡まちづくり協議会 (八幡振興センター) TEL 0198-45-3535



阿部正介 宮沢賢治童話の森写真展

●開催日／6月17日(水)～8月31日(月) ●会 場／宮沢賢治イーハトーブ館
花巻市在住の阿部正介さんの写真展を開催します。宮沢賢治記念館・宮沢賢治イーハトーブ館のある胡四王山周辺は、「宮沢賢治童話の森」として整備されています。阿部正介さんが周辺の自然観察のため撮り集めた写真の中から、賢治作品に登場する植物や昆虫の写真等を展示いたします。
●お問合せ先／宮沢賢治イーハトーブ館 TEL 0198-31-2116

イーハトーブフェスティバル2026

●開催日／8月下旬開催予定
●会 場／宮沢賢治童話村
多彩なゲストを迎えスペシャルトーク、音楽、映像上映などを通じて、賢治の持つ多面的な魅力に迫ります。
●お問合せ先／実行委員会事務局 (花巻市賢治まちづくり課) TEL 0198-41-3591



宮沢賢治作品翻訳書籍展

●開催日／9月2日(水)～令和9年1月下旬
●会 場／宮沢賢治イーハトーブ館
宮沢賢治生誕130年記念 第5回国際研究大会と連携した企画展を開催します。宮沢賢治イーハトーブ館図書室に所蔵の翻訳書を展示するとともに、翻訳者からのメッセージ紹介、翻訳についての研究紹介などを予定しています。
●お問合せ先／宮沢賢治イーハトーブ館 TEL 0198-31-2116

イーハトーブ音楽祭2026

●開催日／9月26日(土)～27日(日)
●会 場／なはんプラザ・花巻駅前多目的広場
花巻の風土やロケーションに融合・調和する“音楽パフォーマンス”による、ジャンル・プロ・アマ・年齢の枠を超えた音楽祭です。
●お問合せ先／実行委員会事務局 (なはんプラザ内) TEL 0198-22-4412

～風の又三郎をおいかけて～ 大迫の山歩きツアー

●開催日／①5月頃 ②10月頃
●会 場／大迫地域
大迫地域における宮沢賢治の足跡をたどるトレッキングツアーです(一般の方も参加可能なイベントです)。
①猫山 ②七折の滝
●お問合せ先／
花巻市大迫総合支所地域振興課
地域づくり係 TEL 0198-41-3121



朗読会「イーハトーブを 風とめぐれば…Ⅳ」

●開催日／6月7日(日) ●会 場／なはんプラザ
「詩にたどる宮沢賢治」をテーマに賢治の作品を朗読します。方言作品においては、花巻弁の持つ温かさ、味わい深さを伝えられる朗読を目指します。
●お問合せ先／ハーナムキヤ朗読会
TEL 080-1800-3414 (伊藤)
TEL 090-5232-1789 (中村)

第15回 宮沢賢治やまなし祭

●開催日／8月2日(日)
●会 場／宮沢賢治やまなし園
童話「やまなし」の朗読などを通じ、自然との共存の大切さを学びます。谷川賢作氏作曲の「やまなし讃歌」も披露します。
●お問合せ先／石鳥谷賢治の会
TEL 090-8258-6170 (熊谷)

賢治祭

●開催日／9月21日(月)
●献花会場／「雨ニモマケズ」詩碑
メイン会場／南城小学校体育館
献花、賢治作品の朗読や合唱、演劇、郷土芸能公演、座談会などを行います。
●お問合せ先／宮沢賢治記念会
TEL 0198-31-2117

夏のイベント

イーハトーブフォーラム2026 ～光と音のページェント 花火ファンタジー～

●開催日／8月上旬開催予定
●会 場／北上川河川敷
宮沢賢治の精神を次代の子供たちに伝えることを願う夏の一大イベントのひとつです。
●お問合せ先／
イーハトーブフォーラム実行委員会事務局 (花巻商工会議所内)
TEL 0198-23-3381



第36回 宮沢賢治賞・イーハトーブ賞贈呈式

●開催日／9月22日(火)
●会 場／なはんプラザ
宮沢賢治の名において顕彰されるにふさわしい研究・評論、実践的活動等を行った個人・団体に賞を贈呈します。贈呈式後は、受賞者による貴重な記念講演や記念発表を観覧することができます。参加申し込みは不要です。
●お問合せ先／花巻市(賢治まちづくり課) TEL 0198-41-3591



宮沢賢治カフェ

●開催日／毎月第3土曜日
午後2時から1時間半程度
●会 場／カフェ羅須
宮沢賢治に学び、宮沢賢治を楽しむことを目的に講話・学習会や朗読・鑑賞などを行っています。参加・出入り自由でどなたでも参加することができます。
●お問合せ先／
宮沢賢治・花巻市民の会
TEL 0198-29-6970 (カフェ羅須)

花巻・賢治を 読む会月例会

●開催日／毎月第3火曜日
午後1時半～4時
●会 場／まなび学園
賢治作品を読み合い、賢治ゆかりの地をめぐるります。ご自由にご参加ください。
●お問合せ先／
花巻・賢治を読む会
TEL0198-45-5704 (代表)

ユネスコティータイム(読書会)

●開催日／
①5月22日(金) ②7月10日(金)
③9月25日(金) ④11月27日(金)
⑤令和9年2月19日(金) 午後2～4時
●会 場／花巻ユネスコ会館(御田屋町)
2冊(うち1冊は賢治作品)を取り上げ、読後の感想を自由に語り合う会です。1回のみの参加も可能です。参加料: 500円(コーヒー、ケーキ代)。※要事前申込
●お問合せ先／花巻ユネスコ協会
TEL・FAX 0198-26-5418 (堀合)

四季のおはなし会

●開催日／皐月の巻: 5月30日(土)
葉月の巻: 8月29日(土)
午後2～3時
●会 場／賢治の広場
宮沢賢治の精神が伝わる「賢治の広場」で、3か月ごとに開催しています。子どもも大人も共に楽しめるように季節の絵本や賢治さんのお話を届けます。皐月の巻は「カイロ団長」を、葉月の巻は「セロ弾きのゴーシュ」を予定しています。
●お問合せ先／こども広場・マグノリア
TEL 090-6229-7738 (牧野)

賢治も登った早池峰山

～豊かな自然と信仰の山～

早池峰山

北上山地の最高峰であり、古くから人々の信仰を集める早池峰山(標高1917m)は、日本百名山の一つとして、高山植物の宝庫として知られています。特に固有種のハヤチネウスユキソウは多くの登山客を魅了しています。早池峰山は、宮沢賢治ゆかりの山としても知られ、賢治は早池峰山を「経埋ムベキ山」の一つとして「雨ニモマケズ」の手帳に記しています。2026年は6月14日(日)に山開きを迎え、入山式と山頂安全祈願祭が行われる予定です。

早池峰神楽

早池峰神楽は、岳神楽、大償神楽の総称です。大迫町内川目地区に古くから伝わり、大切に受け継がれてきました。今年は早池峰神楽が昭和51(1976)年に国の重要無形民俗文化財の指定を受け50年となります。

早池峰山と薬師岳一帯の高山植物群は、国の特別天然記念物となっているほか、周辺は国定公園に指定されています。早池峰山は、賢治も登り、作品を生み出した自然豊かな地で、今も大切に文化が受け継がれています。彩りに溢れる四季の移ろいを、ぜひお楽しみください。



早池峰山(五合目付近)



岳神楽

大償神楽

早池峰山と賢治

賢治は大正7(1918)年に盛岡高等農林学校研究生として「稗貫郡地質及土性調査」に携わるため早池峰山に登り、この山に関する多くの作品を残しています。ここでは、『春と修羅第二集』に登場する、早池峰山に関連する賢治作品の一部をご紹介します。

【早池峰山に関する賢治作品(詩)】
・「早池峰山麓」
・「河原坊(山脚の黎明)」
・「山の晨明に関する童話風の構想」



【発行】
花巻市賢治まちづくり課
〒025-8601
岩手県花巻市花城町9番30号
TEL:0198-41-3591(直通)
FAX:0198-24-0259

